

たかね

第6号

平成25年12月13日発行

まちづくり通信

9月から11月にかけて、たかねまちづくり協議会では様々な事業を行いました。今回は専門部ごとに事業の内容を紹介し、ボランティアとして協力してくれた方や参加してくれた方の声もお届けします。表紙を飾ったのは、朝日みどり小学校と連携し、今年初めて実施した地域振興部の「まちづくり交流広場(餅つき)」です。来年はもっとパワーアップして、地域の皆様の参加を呼び掛けていきたいと思っています。



10月19日、朝日みどり小学校作品展で餅つきしてきました！

地域振興部 飯沼 聡

この度、たかねまちづくり協議会初の試みとして、朝日みどり小学校の作品展の開催日に合わせ、餅つきを行い、小学生や先生方、作品展を見に来ていた地域の皆さんに餅を振る舞わせていただきました。幸い、心配された天候も青空が広がり、予定どおり小学校の中庭で餅つきを行うことができました。「餅をつく」という作業自体を見ることが少なくあった今、臼と杵で餅をつき始めると子どもたちが真剣な表情で見っていたのが印象的でした。

今回、小学生のおばあちゃんを中心に岩沢集落でボランティアを募りました。お忙しい中、前日からの米とき、食材や道具の準備など大変お世話になり、ありがとうございました。

今後、田んぼで稲を作り、収穫し、餅をつく作業などをおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、地域の魅力や文化を子どもたちに引き継いでいけるような企画を行っていかれたらと思います。

参加者の声

朝日みどり小学校3年 遠山恵一朗君

地いきのみなさんがもちをついてくれました。とてもおいしかったのでおかわりもしました。来年はぼくも、もちをつきたいです。

高根 遠山 英樹さん

のびのびとした子どもたちの作品。餅つき大会での子どもたちの笑顔。協議会の取り組みをはじめ、地域ぐるみの子育てが子どもの成長を支えていると感じた。

ボランティアの声

岩沢 斎藤美代子さん

朝日みどり小学校の作品展でたかねまちづくり協議会の方々を手伝い、餅つき交流会に参加しました。皆さんから「おいしかった。」と声をかけられ久々におもてなしの言葉に思いを馳せ、子どもたちや地域の皆さんと楽しい時間を過ごしました。

9月14日岩沢集落まちあるきを行いました!



岩沢まちあるきを終えて

たかねまちづくり協議会長 本間 太一

去る9月14日、秋の取り入れ準備の忙しい中、61名の参加を得て、あらかじめ設定されたコースに分かれ、暑い一日ではありましたが、岩沢集落のお宝を求めて散策しました。

岩沢に住んでいながら、お宝が数多くあることも知らずにいましたが、集落の歴史を再発見するとともに、先人の偉大さを感じた一日となりました。また、飯沼総本家、医泉寺の住職はじめ自己所有するお宝を見学させていただいた皆様には、熱心に説明をいただきましたことにお礼申し上げます。

見学終了後のワークショップでも様々な感想、意見が出ていました。この感想、意見を今後の集落の活性化につなげることが協議会の役目ではないかと考えているところであります。

最後になりましたが、コースの設定等にお骨折りいただきました岩沢区長はじめ区役員、おいしい昼食の準備をいただいたボランティアの皆様にお礼を申し上げます。そして、一緒に歩いてくださった皆様たいへんありがとうございました。



参加者の声

岩沢 高橋 好美さん

私が生まれた岩沢集落を60名ほどでまちあるき。先ず、飯沼総本家から。こだわりの蔵造りは昔の知恵が詰まっている。一番見たい若駒の虎の屏風が目前に。大感動です。千両箱と刀、大皿と古文書、歴史を物語る物ばかりで感激です。23代続く医泉寺、甚内墓、設楽貞次郎の墓標、両八幡神社、観音様と地蔵様、稻荷様と柿の木、その他未知のお宝と出会い嬉しい限りです。後世に大切に残していただきたい。ご先祖様に感謝し、心が豊かになった1日でした。



高根 相馬 美津子さん



飯沼本家、土蔵の造りも簡単でなく、見た事のない物がたくさんあり、特に虎の屏風は迫力と可愛らしさを感じました。養蚕の指導をした人、読み書きそろばんを教えた人、豊かな村づくりに貢献した人たちがいた事を学びました。社が多く、管理も怠りなくされていて、信仰の深さを感じられました。また、歴史的な事ばかりでなく、おいしい食べ物もたくさんあります。里芋、そば…。実家の母が打ったそばは最高です。次は、高根集落だそうです。どんなお宝が眠っているか楽しみです。

10月19日、朝日みどり小学校であいさつ運動！

健康福祉部 鈴木 利文

朝日みどり小学校の校門、児童玄関前であいさつ運動を行いました。登校してきた子どもたちに「おはようございます。」と声をかけると、大きい声で返してくれる子、小さい声の子、なかなか声が出ない子、また、表情も笑顔、恥ずかしそうにした顔、不思議そうに眺めている顔と様々でした。あいさつひとつにも個性が出ていて、見ている私は、なんだか気分が良くなり、少なからずあいさつの効果を実感しました。

あいさつは、強要されるのではなく、自然に声が出てくるものだと思います。そして、お互いが良好な関係を築くための大切な第1歩です。今後も地域の皆様が、自然にあいさつを交わせるように活動の輪を広げていきたいと考えています。



「おはようございます!」と元気な声が返ってきました。



校長先生もあいさつ運動に参加してくれました。



地域の方にはティッシュを配布してまちづくりをPR。



笑顔であいさつ運動ののぼり旗とジャンパー、帽子を作りました。

11月3日、スイセンの球根を植えました！

環境安全部 小田 元二郎

今年も高根地域の玄関口である岩沢集落県道沿い約200mにスイセンの球根植えを計画しました。昨年は、岩沢区役員とたかねまちづくり協議会役員だけで植えましたが、今年は、岩沢集落の方に広く参加を呼びかけました。

10月13日(日)、岩沢区役員による草刈り、10月20日(日)、岩沢老人会と協議会役員による植え床作りを行いました。

球根植え当日の11月3日(日)には、岩沢区役員、岩沢老人会、岩沢集落の小学生とそのお父さんやお母さん、協議会役員合わせて52名が集まりました。協議会長のあいさつの後、植える間隔や深さ、球根の向きなどを説明し作業に入り、1時間ほどで植え付けが完了しました。

来年の4月には、スイセンの花が咲き通学する子どもたちを楽しませてくれることでしょう。花が咲いたら、地域の皆様も朝日支所に車を止めてぜひ、スイセンロードを歩いてください。



参加者の声

岩沢 齋藤 紀子 さん
 今回、子どもと一緒に参加しました。慣れない私たちに皆さん丁寧に教えてくださいました。たくさんあった球根でしたが、老人会の皆さんの手際の良さで、あっという間に終わることが出来ました。来春、通学路にきれいな花が咲くのを楽しみにしています。

岩沢 柳 卓人 さん
 小1の娘と参加しました。世代を超えて参加できるイベントは少ないので、集落の皆さんに娘の顔を覚えてもらいうい機会でした。球根植えは先輩方の「慣れた手つき」で早々に終わり、来春賑やかに咲くのが楽しみです。

11月17日、第2回郷土料理を味わう会を開催しました!



郷土料理とは

高根 遠山 充

「郷土料理を味わう会」を運営する役員として今年で2年目を迎えました。今回は、ごちそう作りにも参加し、料理協力員のかあちゃん方と楽しい時間を過ごしました。

かあちゃん方は皆さん元気で、その勢いに圧倒されながらも、郷土料理はこのように元気で、力強いかあちゃん達によって出来上がったものだと思いました。

また、参加してくださった皆様はその料理を食べながら、集落の枠を超えて、笑顔で楽しそうに会話されていました。

郷土料理とは地域の人と人との心をつなぐもの。そして、人を笑顔にするものではないでしょうか。

今回、参加してくださった皆さまの声を参考にしながら、来年も引き続き、郷土料理や地域食材を使った食のイベントを開催したいと考えています。出来れば、我々世代の少し若い(?)方にもぜひ食べに来てもらいたい。そのための仕掛けを考えていくことが今後の課題です。皆様、来年もよろしくお願います。

メニュー

- ・高根集落大海
- ・なめこおろし
- ・関口やまもち
- ・朝日豚のラフテー
- ・そうめん瓜のサラダ
- ・あつみかぶ漬け
- ・関口産柿
- ・渋皮煮

郷土料理を味わって!

料理協力員 園部 ハツさん

地域に埋もれている料理はまだたくさんあります。今後は、他の集落の方々にも料理協力員として参加していただき、料理交流を広げていきたいと思っています。

2年目となり、作る側も手際よくスムーズにできてとても良かったと思います。



参加者の声

ごちそうさまでした

中原 鈴木 とも子さん



2回目のお呼ばれです。

今回は、高根の大海、関口のやまもち、そうめん瓜のサラダ、朝日豚のラフテー等々。特にやまちは実家の祖母が稲刈り時のメイン料理として気張って作ってくれた思い出の一品です。すったクルマミをたくさん入れたのが、最高の味です。

発行:たかねまちづくり協議会

編集:地域振興部

連絡先

朝日支所地域振興課自治振興室

Tel 72-6880 Fax 72-0328

E-mail

as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

編集後記

今年も残りわずかとなりました。皆様、今年1年、いかがだったでしょうか?

たかねまちづくり協議会でも今年一年を振り返り、来年は更に飛躍できるようにと役員一同頑張っております。今後も、協議会の活動や地域の行事などを知っていただくとともに、皆様のご意見やご要望、情報をいただきながら、高根地域を盛り上げていきたいと思っています。来年も地域の皆様の協力をお願いいたします。(飯沼 聡)